



スーパーPTの活躍！

～鶴巻温泉病院の仕事と子育ての両立への取り組み～

寺尾 詩子（聖マリアンナ医科大学病院）、大島奈緒美（ふれあい平塚ホスピタル）、
三枝 南十（東海大学医学部附属病院）

会員ライフサポート部 第25報
活動報告

現在全国で約6万人の理学療法士がおり、21歳から35歳の若い世代が約70%を占め、そのうちの半分が女性です。つまり、これから結婚、出産、育児といった時期を過ごすことになる会員が急激に増えているということなのです。「イクメン」なる言葉が登場しているように男性の中で育児に積極的に参加することを考えている人も少なくないことが想像できます。仕事と育児の両立のための問題は、本人だけでなく職場の問題でもあります。今回、この問題に関して独自の工夫をしている施設取材しましたのでご紹介します。

スーパー PTとは

鶴巻温泉病院は、リハ部スタッフ総勢175人という大所帯で回復期リハビリテーション病棟を中心に、神経難病や緩和リハビリ病棟など様々な疾患にも対応しているリハビリ病院です。スタッフの約7割が3年目以下という非常に若い職場でもあります。結婚・出産・育児を経験しているスタッフもあり、仕事と家庭が両立できるということはとても重要になります。そこで登場したのが「スーパー PT」です。まずこのネーミングに感動しました！この「スーパー PT」は育児などを理由に残業できないスタッフが任命されます。主に休暇のスタッフの担当患者を受け持ちますが、すべての病棟に適応できる「スーパーな」スキルが要求されます。担当患者を持たないためカンファレンスへの参加や書類業務などはありません。「スーパー PT」は休暇スタッフの担当患者を受け持つため、他のスタッフも休みが取りやすいというわけです。このようにスーパー PTだけでなく、他のスタッフにとってもメリットが生じるように配慮されていて、参考になるものでした。現在はまだ該当者が少ないスーパー PTですが、ここで働く職員にとって安心できる雇用環境といえるのではないのでしょうか。

■ 管理者の立場のPTさんから

医療現場は、残業せざるをえないのが現状です。小さい子どもがいる状態でも仕事と家庭を両立して欲しいですが、従来どおりのスタイルで仕事するのは無理が生じます。そこで考えたのがスーパー PTというわけです。スーパー PTを導入したことにより、「スーパー PT」の仕事と家庭の両立を可能にしました。また、これまで休暇のスタッフは複数のスタッフに担当患者の申し送りを行っておりましたが、現在では申し送りは「スーパー PT」一人で済むため業務の効率化も図ることが出来ました。

■ スーパー PTさんの声、妊婦さんの声

書類業務等の間接業務がないため、早く帰宅でき、その分育児や家事等に時間を費やすことができるのでとても助かっています。スーパー PTの業務は、ほとんどが初顔合わせの患者さんで、リスク管理や配慮する点がそれぞれ違うため、それを毎

回把握しなければいけないところが大変な点です。しかし、他のPTの考えなども垣間見ることができ、勉強になることも多いです。一方で、担当患者を持ちたいという気持ちもあり、仕事に十分時間がとれるようになったら通常の業務形態に戻りたいです。

■ 新人さんの声（男性2人、女性1人）

就職説明会の時にスーパー PTのことも説明があり、そのシステムも含めて賛同して入職を決めました。スーパー PTさんはいろんな患者さんのことを把握できなければならず大変そうだなと思います。また、スーパー PT の存在で休みが取りやすくなったことは有難いです。

■ 取材後記

大所帯なのに、コミュニケーションが全体ではかかっていることが強く印象に残りました。そのための努力もしていることが伝わってきました。それこそが、よい職場環境の核なのだと思えてきました。皆さんのところは、お互いちゃんとコミュニケーションがとれていますか？働きやすいですか？また、素敵な職場があったら取材に駆けつけます。ご連絡お待ちしております。

❖❖❖お知らせ❖❖❖

● 今年もやります！子連れ研修会

「いまさら聞けないシリーズ」と題しまして、少し肩の力を抜いて勉強できるような内容で定期的に開催できればと考えています。今年度は2月頃の予定。詳細はまだ検討中ですが、子連れでなくても、パパ・ママでなくても参加費無料の研修会です。今後のホームページやニュースに掲載しますので時々覗いてみてください。

● メールサポート会員募集

「メールサポートメンバー」を募集します。会員ライフサポート部は、理学療法士としての就労ライフにおける様々な問題を調査・研究し、情報を提供しています。会員の皆様から幅広くご意見を頂きたく、メールサポートメンバーを募集することになりました。詳細は、(社)神奈川県理学療法士会ホームページをご確認ください。

● リカレント研修生募集中

「復職したいけど、現場に戻れるか不安」という方のために、急性期病院、回復期病院、訪問リハビリテーションそれぞれで5日間研修（連続でなくてOK）が企画されています。昨年度は1人研修されました。自分にあっている場所を考える、自信をつけるなどの点でよかったと感想をいただいています。詳細はホームページをご確認ください。